

# 原子野における若き医師の死闘 40 日間

文部科学省選定  
厚生労働省社会保障審議会推薦  
長崎県推薦 長崎市推薦  
長崎市長会推薦  
長崎県町村会推薦  
日本医師会推薦  
広島県知事推奨  
広瀬・文化庁

生き残ったものまで  
ジリジリと殺す  
これは・・・死の同心円だ！



被爆60周年平和祈念作品

## 長編アニメーション NAGASAKI 1945 アンゼラスの鐘

監督・脚本 有原誠治

製作/「NAGASAKI1945 アンゼラスの鐘」製作委員会 アニメーション制作/虫プロダクション 参考文献/「長崎原爆記」他  
声/小林桂樹 伊藤健太郎 大川慶子 作画監督/小野隆哉美術/中村光毅 音楽/小六禮次郎 音響監督/水本 完 プロデューサー/藤田正明 上映時間 80分

上映 7月25日(火)川崎区・サンピアンかわさき(労働会館)

1回目 10:00~12:00 2回目 13:30~15:30  
入場券 200円

### 戦火が絶えない21世紀の今日、全世界へ被爆地からのメッセージ

長崎の爆心地にほど近い浦上第一病院(現・聖フランシスコ病院)で、自らも被爆しながら医療活動を続けた医師、秋月辰一郎の苦闘を伝える長編アニメーション「NAGASAKI 1945 アンゼラスの鐘」が、2005年9月に完成。全国各地の上映会で大きな感動を呼んでいます。制作は虫プロダクション。監督は、「うしろの正面だあれ」「えっちゃんのせんそう」の有原誠治。

この映画は、全国1000会場での上映をめざしつつ、英語版を制作し、世界中の子どもたちに届ける計画です。



広島市長 秋葉忠利

世界的に被爆の記憶が薄れつつある中、数多くの方々に「NAGASAKI 1945 アンゼラスの鐘」を観ていただくことにより、広島と長崎の被爆の実相や地球上に二度と過ちを繰り返さないと誓ったヒバクシャの意志が、若い世代や広く世界に継承され、さらに多くの皆様が、憎しみや恐怖から解放された、核のない平和な世界の実現のために、あらん限りの力を尽くされることを心からお願い申し上げます。



長崎市長 伊藤一長

被爆後、60年が経過し、被爆の実相の風化が危惧される今日、一人でも多くの人々に核兵器の恐ろしさと非人道性を語り伝えることは、被爆都市として長崎が世界に果たすべき使命です。

「NAGASAKI 1945 アンゼラスの鐘」は、映像による語り部として、次世代への被爆の実相の継承に大きな役割を担うことが期待されます。平和を願う市民の一人ひとりの力を合わせることで、この作品が完成し、上映されることに大きな意義を感じています。

#### ものがたり

1945年、美しいアンゼラスの鐘が時を告げる浦上天堂の近くに建つ浦上第一病院は、市民にとって頼りになる存在でした。

病院に赴任してきた若き医師秋月辰一郎は、誠実な人柄で患者や地域の人々の敬愛を得てゆきます。

8月9日11時2分、長崎上空で閃光がきらめき、一瞬にして人々は原爆に焼かれ、爆風に吹き飛ばされて犠牲となります。アンゼラスの鐘も吹き飛び、瓦礫に埋もれます。奇跡的に助かった秋月と病院の人々は、助け合い、広がる不可解な病魔とたたかいながら、必死の救護活動を続けるのでした。

#### 秋月辰一郎先生のこと

映画の主人公となった秋月辰一郎先生(89歳)が、映画の完成間もない10月20日にお亡くなりになりました。

秋月先生は、13年前の10月14日、長崎市内での反核医師の集いに参加した直後、持病の喘息発作に倒れ、不運にも意識不明となりました。

それ以来、長年勤めた聖フランシスコ病院の病室でともに被爆し助け合った奥様すが子さん(映画の村井看護婦)の看護を受ける日々でした。被爆直後から被爆者の救済にあたり、生涯を被爆治療と核兵器廃絶の平和運動にさげられた秋月先生に感謝しつつ、ご冥福を心からお祈りします。



(有原誠治)

#### 上映会のお知らせ

|                  |                              |                      |
|------------------|------------------------------|----------------------|
| と<br>と<br>こ<br>ろ | 7月24日(月) 幸区・幸市民館             | 7月31日(月) 麻生区・麻生市民館   |
|                  | 7月25日(火) 川崎区・サンピアンかわさき(労働会館) | 8月1日(火) 多摩区・多摩市民館    |
|                  | 7月26日(水) 宮前区・宮前市民館           | 8月7日(月) 高津区・エポックなかはら |
|                  | 7月27日(木) 中原区・エポックなかはら        | 【同時上映】「子どもの権利条例」     |

|                         |             |
|-------------------------|-------------|
| 上映時間                    |             |
| 1回目                     | 10:00~12:00 |
| 2回目                     | 13:30~15:30 |
| ※上映時間中にお子さまを一人にしないで下さい。 |             |

|             |                        |  |
|-------------|------------------------|--|
| 入<br>場<br>券 | 200円                   | ●入場券は当日会場でのみの販売となっております  |
|             | (4歳以上おとなも<br>子どもも同一料金) | ・午前の部 チケット販売開始時刻 9:30~<br>・午後の部 チケット販売開始時刻 13:00~<br>※午前の部の販売時に午後の部の販売は致しません |

- この料金は川崎市立学校の教職員でつくっている川崎教育文化研究所の援助によって実現しました。
- 車・自転車でのご来場はご遠慮ください。

主催 川崎教職員会館 川崎市中原区下沼部1709-4  
川崎教育文化研究所 TEL (433) 9100  
http://kawa-kyou-kaikan.or.jp

後援 ◆川崎市教育委員会 ◆川崎市PTA連絡協議会  
◆川崎市 ◆神奈川県教育会館

配給 シネマ・ジャック&ベティ株式会社エデュイトジャパン

#### ●会場案内図●

